

平成30年度公益財団法人新潟市海洋河川文化財団 事業計画

事業概要

【期 間】

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、教育文化の普及啓発事業の一層の充実を図るとともに、指定管理者として共同事業体である新潟市開発公社と連携協力し、新潟市水族館の適正な管理運営を行っていく。

また、指定管理者の再指定を受けるための準備を進めていく。

【事業名】

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わり大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

【主な事業内容】

- (1) 海洋・河川文化の普及啓発

区 分	名 称	プログラム等	内 容
体験学習	田んぼ体験	田植え	にいがたフィールドの田んぼでの田植え体験をする
		稲刈り	にいがたフィールドの田んぼでの稲刈り・稲架かけ体験をする
		脱穀・粃すり	にいがたフィールドの田んぼでの脱穀・粃すり体験をする
		わら細工	稲わらを使用して稲わら細工をする
講演会	外来種に関する講演	講師：井上信夫	新潟県内の外来魚を中心に外来生物の現状について講演する
	ゲンゲ類についての講演	講師：日本海区水産研究所研究員	当館で採集し飼育している生物について講演をする
	大人向け連続講座	講師：当館職員、他施設・研究所等の研究者等	新潟や日本海の自然や文化などについて、全5回(予定)の連続講座を開催

社会施設との連携	社会教育施設連携	新潟の歴史と環境と生物	新潟市歴史文化博物館などと連携し、新潟の潟や川、陸水に棲む生物やその環境、歴史を伝える
	社会教育施設連携	教育イベントへの協力	新潟市内で開催される親子向けなどの教育系イベントや会議などへの展示協力をおこなう
	学校教育施設連携	校外学習の受入	水に棲む生物や飼育・環境に関する情報を学校からの質問に合わせて、写真や資料を用いて伝える

(2) 海洋・河川文化の調査研究

区分	名称	内容
研究発表	JAZA(日本動物園水族館協会) 関連	水族館技術者研究会、海獣技術者研究会など
	研究会・学会等	日本動物園水族館教育研究会など
各種会議	JAZA関連	設備会議、事務主任者会議、ワークショップ、魚類作業部会など
	JACRE(日本鯨類研究協議会) 関連	JACRE会議、JACREトレーニングセミナーなど

(3) 海洋・河川文化の保護保全(生物種の保全を含む)

区分	名称	内容・回数(予定)
生息域内保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	ハクバサンショウウオ調査	糸魚川市の両生類の生息調査・2回
	ホトケドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	キタノアカヒレタビラ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
連携調査	ROV(水中探査機)	寺泊沖で深海生物の調査・1回
	カメプロジェクト	県内の淡水カメ類の生息調査・4回
	親子魚探検(五泉)	生物多様性保全ネットワークの自然観察会への講師派遣・2回
	水あぶり(関川)	タランペクラブの自然観察会への講師派遣・1回

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【主な事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

名称	プログラム	内容
いきもの教室	プランクトンの観察	植物・動物プランクトンを紹介し、食物連鎖の仕組みや環境問題などを解説する
	ペンギンについてもっと知ろう	ペンギンの分類、生息地、形態、生態の紹介や健康管理・繁殖への取り組みなどについて解説する
	貝の標本づくり	海岸にて実際に貝の採集を行い、採集した貝を用いて、標本を作成する
	ウミホタルの観察	ウミホタルの生態や体の仕組みを解説し、餌を与えて摂餌の様子を観察する

	スルメイカを調べよう	スルメイカの体の形を見てもらい、形態的特徴を解説する。解剖して内臓などを観察する
	みてみてクラゲ	ミズクラゲを間近で体の構造や餌の取り方を観察する。ポリプやエフィラなどクラゲの一生を紹介する
	いきものの歯をみよう	魚やイルカなどの歯のイラストを描いてもらい、その後、実物を観察し、特徴や多様性について解説する
	アシカトレーナー体験	ゲームでトレーナーの類似体験をしたり、実際に動物に合図を出すなど、トレーニングを体験してもらう
	いきもののかたちを見よう	動画や写真を見ながら水に棲む生き物の様々な形から読み取ることのできる生活や環境の関連性を紹介する
	魚の解剖	魚の外側と、解剖して内側のからだのつくり、生体を観察する
定期解説	イルカバックヤードミニガイド	イルカバックヤードやイルカステージを解説しながら案内する
	にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを歩きながら、四季の変化に応じた自然環境と生物について解説する
	育成室開放	育成室の中で、簡易解説板を設け、職員が解説を行う。
企画展示	育てる－マリンピア日本海の繁殖・育成－	なぜ育成を行うのか、当館ではどのように繁殖や育成を行っているのか、実際に育成に成功した生物を紹介する
	新潟の外来魚－国外外来魚・国内外来魚・人工改良品種－	代表的な国外外来魚・国内外来魚・人工改良品種を生体展示し、パネルで経緯や問題を伝える
	フォトコンテスト受賞作品展	当館で撮影した写真について、一般募集しコンテストを実施、上位受賞者の展示会をおこなう
	水族館の採集活動	当館スタッフが行う様々な採集活動を紹介、また、その際に使用する、網などの採集道具、酸素パッキングやタンカ等の輸送道具も紹介する
参加型イベント	親子いきもの体験	生物の観察と触れる体験、図画や工作などを行い、親子の触れ合いとスタッフとのコミュニケーションを通し、感覚教育の体験をもとに知識をつくり、学びの定着を図る
	世界カワウソの日	ユーラシアカワウソについて、解説のほか缶バッジづくり、毛皮の展示を行い、日本カワウソについての説明などを行う
	おやこですいぞくかん	家庭ではできない大掛かりな工作などを取り入れ、水生生物や海について、理解や知識の普及を行う
	写真教室	水槽撮影時に役立つ技術をレクチャーし、実際に館内で撮影を行う。撮影後、作品を発表する
ガイドツアー	ナイトツアー	閉館後の夜の水槽の様子を観察してもらい、昼と夜での生き物の活動や体色の変化をツアーガイド形式で解説する
野外体験教室	海辺のいきもの観察会	砂浜でスナガニの採集や観察を行うとともに、その他の砂浜で生活する生き物も観察する。

(2) 水生生物の収集、飼育、展示

区分	名称	内容・回数(予定)
飼育展示	館内での飼育展示	500種20,000点を超える飼育規模を維持
生物収集	相模湾乗船	キンメダイ、シキシマハナダイ等乗船採集・2回
	沼津乗船	クロホシイシモチ等乗船採集・3回
	佐渡乗船	エビカゴ漁乗船採集(深海生物)・2回
	寺泊乗船	アカムツ漁乗船採集・5回
	岩船乗船	アカムツ漁乗船採集・2回
	出雲崎	アマモ場生物採集・5回

	能生乗船	ベニズワイ漁乗船採集（深海生物）・2回
	間瀬乗船	底曳網漁乗船採集・2回
生物交換	ふくしま海洋科学館	マイワシなど・10回
	東海大学海洋科学博物館	キンメダイなど・1回
	のとじま臨海公園水族館	マダラなど・3回

収益事業

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。

【主な事業内容】

区分	設置数・場所
レストラン	1ヶ所・本館2階
軽食	2ヶ所・屋外、屋上 ※季節・天候により営業中止
移動販売車	2ヶ所・アプローチ棟手前 ※季節・天候により営業中止
売店	1ヶ所・アプローチ棟
自動販売機	17ヶ所・館内各所
ロッカー	1ヶ所・本館1階
記念メダル	2ヶ所・本館1階
プリクラ	1ヶ所・水辺の小動物